

MELON 情報紙

Miyagi Environmental Life Out-reach Network



2019年6月★第130号

若林区荒浜で海岸ごみの清掃活動をしました！

広瀬川1万人プロジェクト「広瀬川一斉清掃」
仙台市若林区荒浜会場
日 時：4月20日（土）10：30～11：30
場 所：仙台市若林区荒浜
参加者：67名 回収したごみ袋：67袋

広瀬川1万人プロジェクト「広瀬川一斉清掃」ではじめてMELONが運営担当として参加し、仙台市若林区荒浜で海岸の清掃活動を行いました。

当日は、晴天のごみ拾い日和！何も知らず浜辺に遊びに来た親子も参加してくれました！ごみの中には、花火

や紙を燃やした残骸がたくさんあり、なぜ片づけていなかったのか心の底からがっかりしました。海から漂着したごみで汚れているわけではなく、我々消費者のモラルの低さにより海が汚れているのだと思います。また、小さなガラス片やプラスチック片もたくさん落ちており、裸足で歩くにはもっときめ細やかな清掃活動が必要です。この海岸では定期的に清掃活動を行っています。ぜひ参加してきれいな浜を取り戻しましょう！



小さなごみが拾いきれないくらいたくさんあります



ごみを67袋回収しました！



みんな一生懸命拾いました！

MELONとは 公益財団法人 みやぎ・環境とくらし・ネットワーク ― 通称「MELON」。1992年の地球サミットをきっかけに翌'93年に誕生しました。緑と水と食をとおして環境とくらしを考え、地域と地球環境に寄与しようと多くの市民、学者、知識人、協同組合、企業、団体が作られたNGO（非政府組織）です。地域と地球環境を守るため1人ひとりの参加と協力をつなぎます。

MELON 会員募集

MELONの活動は会員の会費で支えられています。

MELON会員特典

- MELON主催イベントに会員割引で参加できます。
 - ごみや水、緑や食、自然エネルギーや企業の環境の取り組みなどをテーマに勉強会や見学会を行う部会に参加できます。
 - ボランティアや部会に参加することにボランティアポイントが1個もらえ、5個集まると1,000円分のMELON商品券と交換できます。
 - MELONの活動や環境情報を掲載した情報紙をお届けします。
 - メールアドレス登録で、会員同士の情報交換ができるメーリングリストに登録できます。
- ～入会希望の方は事務局までお問合せください～

Index

- P1 若林区荒浜で海岸ごみの清掃活動をしました！
- P2 MELONcafe プチ講座
／夏はグリーンカーテンで快適に！
- P3 ストップ温暖化センターみやぎ通信
- P4 昨年度のインターン生から！
／かんきょう見聞記「川で拾うもの」
- P5 協同組合からのお知らせ
／目指せ100人！環境リレートーク 鈴木圭介さん
- P6 仙臺農塾 Vol.7大人の食育プロジェクト
- P7 自然の素材でクラフト体験！！
ベガルタ仙台エコ体験ブース
／仙台市のみどりのお祭り「新緑祭」に今年も参加しました！
- P8 トピックス／イベント一覧／編集後記



MELONcafe

「Let'sビーチコーミング!※

小物づくりワークショップ in 荒浜」

日 時: 6月1日(土) 13:30 ~ 16:00

場 所: 仙台市若林区荒浜 里海荒浜ロッジ

参加者: 13名

MELONcafe プチ講座は参加者同士が楽しく交流しながら、環境についてのプチ情報を知ってもらう場です。今回は初めて外に飛び出して実施しました!

場所は、海岸ごみが多く流れ着いている仙台市若林区荒浜。浜辺を歩いていると小さくてカラフルなプラスチック片が目立ちます。定期的に海岸清掃をしていますが



小さなプラスチック片など、たくさんの漂着物をゲット!



海の漂着物で素敵な小物をつくりました!

こんなに小さなごみは取り切れません。最初に荒浜のごみの現状を見てもらい、海岸に漂着しているプラスチック片、貝殻、牡蠣の養殖に使われた「豆管」、流木などを拾いました。これらを洗って乾かしたものがワークショップの材料になり、参加者達はカラフルなプラスチックや丸い豆管を器用に貼り付けてキーホルダーやフォトフレームを個性豊かに作りました。きっと自宅に戻ってからもこの荒浜を思い出してくれると思います。また、この地域では津波で家の垣根が流されてしまったので、地元の方に指導してもらいながら「ベニカナメモチ」という植物の苗木を植えました。

海岸ごみは、ごみのポイ捨ても原因となっています。しっかり分別して海岸ごみが増えないようにしましょう。
※海岸の砂浜に打ち上げられた漂着物を収集すること。

夏はグリーンカーテンで快適に!

生ごみ堆肥化&ベランダ園芸講座

「楽しい! 涼しい!! グリーンカーテンで夏を倍楽しもう!」

日 時: 5月26日(日) 10:00 ~ 12:00

会 場: みやぎ生協集会所(フォレスト仙台5階)

講 師: 柳沼真理さん(シンプル&スローライフの会代表)

参加者: 20名

4R推進部会では、家庭ごみの28.9%を占める生ごみの削減を目的に、生ごみ堆肥化を推進しています。作っ



生ごみ堆肥化の作り方を伝授中!

た生ごみ堆肥の活用法として、猛暑を乗り切るためのグリーンカーテン講座を開催し、柳沼さんから育て方のコツや省エネ効

果について教えてもらいました。

今回教えてもらったのはアサガオやゴーヤの育て方。蔓性植物は葉が7~8枚の頃にツルの先端をハサミで切り取ることが重要とのこと。かわいそう!と思ってしまいがちですが、切ることでその下の芽(わき芽)が複数伸びてきてツルの本数が増えるのです! 特にゴーヤの場合はわき芽から実を付ける雌花が咲くそうです。さらに、分かれて伸びてきたつるをネットに絡めてあげることでキレイなグリーンカーテンができていきます。

グリーンカーテンは見た目がよくなるだけでなく、葉の裏からの蒸散効果で涼しくなります。グリーンカーテンがある暮らしは楽しみが増えるだけでなく、省エネ効果も! 皆さんもぜひ育ててみませんか?



講師の柳沼さん

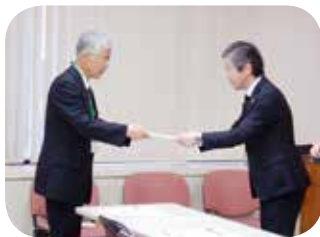
ストップ温暖化センターみやぎ通信 Vol.85

推進員だより No.29

平成31年度宮城県地球温暖化防止 活動推進員委嘱状交付式&研修会

日 時：4月22日（月）13：30～16：00
会 場：宮城県行政庁舎1階 みやぎ広報室
参加者：41名
内 容：1. 第2,4,6,8,10,12期の委嘱状交付式
2. 研修会（講演会等）

毎年開催されている推進員委嘱状交付式。今年度は新しい推進員も含め33名が委嘱され、推進員は全77名となりました。その後に行われた研修会では、「地域における地球温暖化対策～緩和と適応～」について東北地方環境事務所環境対策課地域適応推進専門官の金鋼一さんより講演をしていただきました。皆さんは地球温暖化対策の「適応策」、「緩和策」について聞いたことはありますか？「緩和策」とは二酸化炭素などの温室効果ガス排出を抑制すること。「適応策」とはすでに起こりつつある気候変動の影響に順応、対応すること。例えば暑い日中に外出する時はこまめな水分補給や帽子をかぶるなどして熱中症対策をすることです。



委嘱状交付式。
身が引き締まる思いですね！

「緩和策」「適応策」は車の両輪であり、同時に実施していくことが重要とお話があり、推進員の皆さんにとって今後の活動への刺激となっていました。



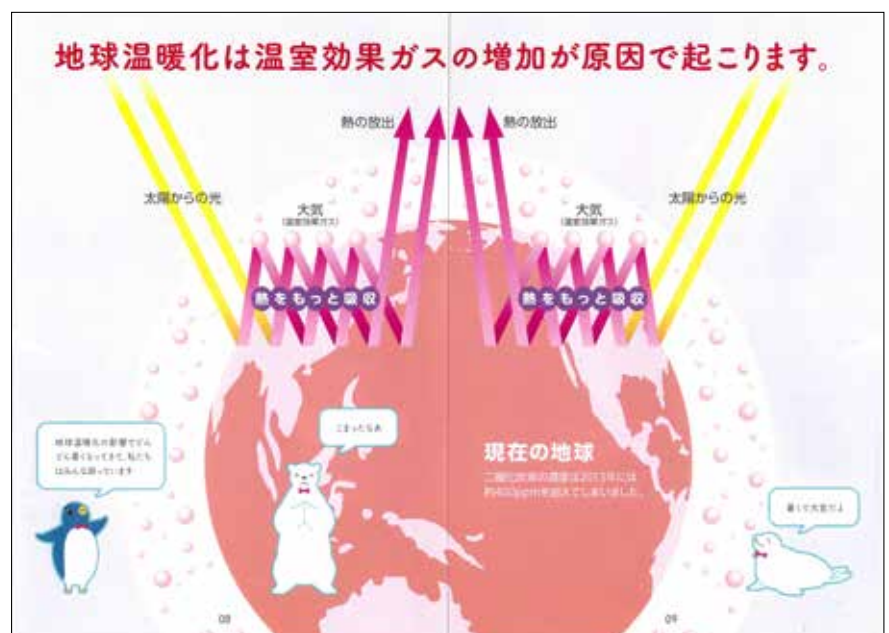
頼もしい仲間たち！

まったなしのストップ温暖化！

「知ることからはじめよう！まったなしのストップ温暖化！」という小冊子を夏に発行します。

環境小冊子は「宮城県内の家庭からのCO₂排出が全国に比べてどうなのか？」「CO₂排出が多いのは何の用途からか？」など、判りやすいグラフで見ることができます。さらにどのくらいのコストなのかも数字で出ています。例えば、宮城県のCO₂排出量は全国に比べて1世帯あたり約1,000kg-CO₂/年多く、光熱費（4人世帯）では約3万円多く光熱費にかかっていることを伝えています。

この小冊子は家庭におけるCO₂排出量だけでなく、気候変動についての簡単な解説と取り組みも紹介しており、環境学習にも利用できる内容となっています。



温暖化は温室効果ガスの増加が原因

昨年度のインターン生から！

2018年度CSOラーニング制度 インターン活動報告
成澤朋紀さん（東北大学）
活動時期：2018年6月～2019年1月

私は、CSOラーニング制度という損保ジャパン環境財団主催のインターン活動に参加しました。これは、8ヶ月間環境団体に派遣されるというもので、私はMELONに派遣され、活動を行いました。MELONの活動では、イベントにブース出展したり、環境に関する講演会を行ったり、外に出向いて活動することが多かったです。特に印象に残ったのは、キリバス環境出前講話でした。分かりやすく、楽しくて、かつ胸に突き刺さるような講師の方のお話を聞いて、こんな講話をできるようになりたいと、感動しました。

MELONで活動していくうちに、事務的な仕事やブログ作成などの広報活動、イベントでのブース対応など、多くの経験を積むことができ、社会勉強としても学べる事が多かったです。私は、この活動を行う以前は自分に自信が持てず、失敗を恐れてあまり積極的に動くこと

はありませんでした。しかし、この活動を通して、環境活動に関わっている自分に誇りを持つようになり、自分に自信を付けることができました。

今後は、MELON会員として、水部会などの活動を行っていく予定です。そして、新しく立ち上げた「環境系学生団体海辺のたからもの」にも所属し、海洋ごみ問題の活動に関わっていきます。最後に、このCSOラーニング制度が、今年度もまた6月から開始しています。MELONに新しいインターン生が来ていると思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。



アザランの着ぐるみを着てブース対応した時の様子
（環境フェスタinかなん）



「川で拾うもの」

落語篇⑬

桂 三木助「芝浜」

石垣政裕（MELON 理事）

5月中旬。ごみ拾いの活動に出かけました。この日は、広瀬橋の長町側を基点にして、広瀬川沿いをごみ袋とトングを持って歩こうという催しでした。川沿いは比較的清掃が行き届いていて、ごみがあまりありません。でも、河川敷におりると、どこからか流れて来たのでしょうか、農業用の取水のため水嵩が少なくなって表出した川泥に、半分埋まるようにしてプラスチックのレジ袋のようなものがかんたんに『獲れ』ます。少し水嵩が増せば、これらは海へと流れ、今、懸念されている海洋のプラスチックごみになるのでしょう。

3代目桂三木助の「芝浜」（ザ・ベリー・ベスト・オブ落語第10巻、企画・制作／東宝ミュージック株式会社、販売／ユーキャン）を聞いてみましょう。

本当は腕のいい魚屋の勝は全く仕事をしない。ある朝、女房に起こされて、天秤棒をかついで早々家を出る。仕入れにはまだあると、芝の浜で一服していると、波打ち際に82両もの大金が入った財布を見つける。さあ、男は慌てて家に持ち帰り、これで、仕事に行かなくても楽に暮らせる、めでたいと仲間を呼び、酒をたんまりと呑んで寝てしまう。

また女房に起こされた男は、もう仕事をしなくてもいいんだ。「俺が芝の浜で82両へえった革の財布、渡したろ。」という。女房は、「なにを寝ぼけてんだよ。情けないねえ。」と、それは夢だと言い切る。そんな夢を見た勝は不甲斐ない自分を恥じ、一念発起して、それからは仕事に精を出すようになる。そして商売もうまくいくようになった3年目の大晦日、女房はあの財布のことを打ち明ける。浜で拾った財布のおかげで女房が機転をきかせ、男を立ち直らせることができた夫婦愛の物語です。お芝居にもなって上演されています。

風に吹き飛ばようなごみでも、みんなが拾ったものは、このお話しの財布のように、心にずしりと重いものなのかもしれませんね。

各協同組合からのお知らせ

MELON の協力団体である各協同組合が取り組んでいる、環境に関する情報をご紹介します。

～みやぎ生活協同組合～

夏休み親子企画「南三陸の森と水辺を探検しよう！」参加者募集

南三陸町にある「こ～ぷの森貞任山」で森の観察と近辺の水辺で生き物探しをします。
被災地の視察も行います。夏休みの一日、親子で南三陸をまるごと味わってみましょう！

日 程：7月20日（土）※小雨決行

集 合：仙台駅東口貸切バス発着所8：30 帰着予定17：00

募 集：35名（応募多数時抽選、当選者には7月10日までにハガキでご連絡します。）

参加費：無料（昼食は各自用意）

持参物：昼食、飲料、帽子、軍手、タオル、着替え、長袖・長ズボン、運動靴、筆記用具

締 切：7月5日（金）

応募方法：名前、（子どもの場合は年齢も）、住所、電話番号を明記し、下記までお申込みください。



問合わせ・申込み先
みやぎ生協生活文化部
〒981-3194 仙台市泉区八乙女4-2-2
TEL：022-218-3880 FAX：022-218-3663



目指せ100人！ 環境リレートーク



第73人目の執筆者

鈴木圭介さん

（ミライトス株式会社 代表取締役
つづり
綴café オーナー）

仙台市青葉区北目町で、綴café（つづりカフェ）という飲食店を営んでいます。

「綴」というコンセプトには、地元の愛すべきさまざまなものを「つなぐ」「ひもとく」「携える」「織りなす」「したためる」といった意味を込めていて、地域のつながりを特に大切にしています。提供するメニューも、地元の素敵な生産者さんが一生懸命作った食材の美味しさを、きちんとお客様にご提供できるよう、そして想いを伝えられるよう、心を込めて調理しています。

生産者さんの想いに触れると、自ずと食材へのありがたみも強く感じられます。店では、野菜の皮など普通であれば捨ててしまうような、はじっこ

の分も細かく刻んでスープを作ったり、ひき肉に混ぜたりして活用しています。生ごみは、ほとんど出すことがありません。はじっこ野菜ならではの美味しさもふんだんに味わえて、いいことばかりです。

お料理には添加物などは一切使用しておらず、自然のやさしさと美味しさを大切にしています。健康的で豊かな食生活を応援することが、ひいては地域環境の向上にもつながるのかなあ、などと考えています。

■ミライトス株式会社

住所：仙台市青葉区北目町4-7 HSGビル1階

TEL：022-393-5836

■綴café

住 所：同上 TEL：022-393-7888

定休日：日曜・祝日

U R L：https://tsuzuri.jp/

… 次号執筆者紹介 …

赤淵利恵さん

（有限会社竹鶏ファーム）



仙臺農塾

大人の食育プロジェクト

Vol.7 第3回

「田尻どいちからお届け 優しい牛乳のフレッシュチーズ」

■日 時：4月24日（水）19：00～21：00

■ゲスト：早坂良枝さん（STUDIO どいち代表）

※旧姓橋元さん

■会 場：BISTRO ENCORE

（仙台市青葉区国分町2-8-9）

■参加人数：21名

大崎市の田尻^{たじりどいち}百^{どいち}パーに工房を構え、モッツアレラチーズ、リコッタチーズを手作りしている早坂良枝さんをゲストに、チーズのお話を聴きました。早坂さんは北海道でチーズ作りを学び、宮城に戻って地元の生乳を原料にチーズ作りを始めました。きっかけは東日本大震災。自



「チーズ愛」が伝わってくるお話しに、参加者も「応援します!」という気持ちに

分にできること、地元を応援できることはなんだろうと考えた結果だそうです。屋号の「どいち」も、地元の地名からとったとのこと。工房での直販や飲食店への販売を行っています。

生乳は大崎市の隣、大郷町の菊池牧場から仕入れていきます。菊池牧場では牛が伸び伸びと草を食み、夏は湖で水浴びをし、夕方には牛舎に戻ってくるという自由なライフスタイル。大郷町で作られ



モッツアレラとリコッタを存分に楽しめる前菜4種

ているブドウやリンゴのジュースの搾りかすも飼料として与えられているため、生乳は甘い香りもするそうです。また、チーズ作りの際に出る液体のホエイは羊の飼料として差し上げるとのこと。何も無駄にされず、循環の輪の中でチーズも作られています。どいちのフレッシュチーズは塩分控えめで水分を多くとどめているため、やわらかめです。生乳本来の、純な味を楽しめました。何より、人とのつながりを大切にしながらチーズ作りをしている姿勢が印象的でした。早坂さんは現在フレッシュチーズのみを製造、販売していますが、今後ナチュラルチーズや日本酒を使用したチーズも作っていきたいと、とても意欲的でした。今後の活躍に乞うご期待！

Vol.7 第4回

「実り豊かな里山の作物と農泊」

■日 時：6月5日（水）19：00～21：00

■ゲスト：渋谷文枝さん（ふみえはらはん代表）

■会 場：地酒地料理太左^{たさ}門^{もん}

（仙台市青葉区国分町2-15-2グランパレビル1階）

■参加人数：19名

「ふみえはらはん」は県内最初の農家レストランで、渋谷さんの名前「ふみえ」と、地区名の「原班^{はらはん}」に由来しているとのこと。近所の仲間が集まれる場所を作ろうと母屋を改装してイベントなどを行っていたそうですが、都市に住む人々の食への関心の高さを背景



鴨肉とリンゴのハーモニー

に、地元食材の紹介もかねてレストランを開業したそうです。隣には娘さんが経営する農家民宿「おりざの森」があります。全国のさまざまなところから訪れる人々が、土に触れ、癒されていく様子を見て、自分たちも役に立つことができるのではないかと感じられたそうです。

今回の料理では、田んぼの除草として活用している合鴨農法の鴨が参加者を楽しませてくれました。また、農園のリンゴジュースも料理に彩りと味を添えてくれました。その



渋谷さんの里山暮らしを楽しくお聞きしました

他、宮城の食材をふんだんに使った料理とお酒を味わいながら、渋谷さんの里山での暮らしのお話を聞いて、楽しく時間が過ぎてゆきました。

自然の素材でクラフト体験！！ベガルタ仙台エコ体験ブース

日 時：4月28日（日）10：00～15：00
場 所：ユアテックスタジアム仙台 北エントランス
来場者：300名

ベガルタ仙台の試合会場で、恒例のエコ体験ブースを開催。今年は「エコ検定」と「クラフト体験」を行いました。エコ検定では、ユアテックスタジアムで取り組んでいるエコ活動やエネルギーに関する問題を、小中学生



大人も子どももクラフトに夢中

たちに楽しく学んでももらいました。また、多くのボランティアの協力により、子どもと一緒にスタジアムのごみの分別活動を体験してもらいました。

クラフト体験では、NPO法人川崎町の資源をいかす会に材料の協力をいただき、木のぬくもりや香りを感じながら工作を楽しんでももらいました。また、



楽しくエコを学んできれいな街に

街の美化や「みどりと共生」の大切さを感じてもらえるよう、仙台市百年の杜推進課のパネル展示、花の種の無料配布などを行いました。

これからもぬくもりある緑いっぱいのエコシティを目指し邁進していきます!!

仙台市のみどりのお祭り「新緑祭」に今年も参加しました！

日 時：4月21日（日）
場 所：勾当台公園 市民広場
来場者：300名

この「新緑祭」は、仙台市が市民とともに緑豊かなまちづくりを推進するため、毎年「みどりの月間」である4～5月に開催しています。緑化事業の推進に貢献された方々に感謝状を贈呈する式典のほか、花苗や苗木の販売、みどりに関する活動を行っている団体による体験・販売ブースや、ダンスなどのステージパフォーマンスが行われ、大いににぎわいました。

MELONはみやぎ生活協同組合と共同でブー



ガイドツアーで樹木の解説に聞き入る参加者



来場者でにぎわうブース

ス出展し、間伐材の木工や積み木のコーナー、クロモジの枝を煎じたお茶の提供、森林に関する絵本やパネルの展示等を行いました。積み木のコーナーでは

夢中になりいつまでも動かない幼児もいて、その間に親御さんにクロモジ茶を提供したり活動の情報提供などができました。

またブース出展を担当した「みやぎ里山応援団」のリーダー今野勇さんを講師に、樹木の解説をしながら勾当台公園内を歩くガイドツアーを開催し、身近な公園の樹木を知って楽しかったと参加者に好評でした。

今後もこうした機会を生かし一般市民に森林の保全や活用について知っていただきたいと思います。

元インターン生2人が 環境団体を立ち上げました！

昨年度MELONにインターンしていた大学生2人で環境団体を立ち上げました！団体名は「環境系学生団体 海辺のたからもの」です。私たちはインターンの一環で、MELON 4R推進部会の活動テーマである「海洋ごみ問題」に触れ、興味を持ちました。そこで4R推進部会の活動中に拾い集めたプラスチックごみを使って、キーホルダーやイヤリング等のアクセサリをつくり始めました。販売の他に、子どもたちとアクセサリづくりのワークショップも行っています。MELONと協力して会員さん方から幅広い知識を教えてくださいながら、同世代の若者が環境に関心を持ってくれるような活動をたくさん考えていきます。立ち上がったばかりのひよこ達をこれからよろしくお願いします！

海辺のたからもの
代表 畠山純悟（東北大学）



編集後記

- 昨年プランターに移植したジャーマンアイリスが、やっとツボミを付けてくれました。色をお好みで注文したのでどんな色に開花するのか楽しみです♪（菅田）
- 薫風が吹くさわやかな5月のはずが、30度越えとも思える日がありました。今年の夏はどうなるのかなとビクビクしています。冷房が苦手な三浦でした。（三浦）
- 仙臺農塾の打ち合わせで、カモ農法をおこなっている農家に伺ってきました。生まれたてのコガモたちがいっぱい到着。とってもめんこかったです！（山形）

【お詫び】

前号 129 号で「MELON 情報紙は再生紙を使用しています。」と掲載しておりましたが、再生紙を入手しにくくなったため、129 号より再生紙を使用しておりません。表記の誤りにつきましてお詫び申し上げます。

MELON イベント情報

これから開催を予定しているイベント・会議をご紹介します。

各イベント参加者を募集しています。詳しくはMELON事務局までお問合せください。

※会員以外の方も参加できます。

7/2（火）	みやぎ里山応援団 例会
7/6（土）	水部会 例会
7/14（日）	『学都「仙台・宮城」サイエンス・デイ 2019』にブース出展
7/18（木）	MELONcafe 企画部 打合せ
7/19（金）	4R 推進部会 例会
8/3（土）	「エコチャレンジフェスタ in ユアスタ仙台」にブース出展
8/14（水） 15（木）	「楽天命パーク宮城 エコ体験ブース」にブース出展
8/15（木）	「エコチャレンジフェスタ in 楽天命パーク宮城」にブース出展
8/20（火）	「水道フェア 2019」にブース出展
8/24（土） 25（日）	「史都多賀城市環境グルーヴフェス」にブース出展
9/1（日）	「エコフェスタ 2019」にブース出展
9/7（土）	「仙台・長町紙芝居フェスティバル」に出演
9/8（日）	「第7回はやぶさまつり」にブース出展
9/28（土）	「第24回 MELON 会員と市民のつどい ~MELON フェスタ~」開催

※日程や内容の変更、上記以外にもイベント開催する場合があります。ご了承ください。

〈会員状況〉

585 名
法人 62
任意団体 9
個人 514
2019 年 4 月 30 日現在

ボランティアポイントカード制度 をご活用ください

会員の方には、「MELON ボランティアポイントカード」を発行しています。部会・プロジェクトの例会出席、作業やイベントでのお手伝いをすると、1 ポイント差し上げます。5 つ貯まると 1,000 円分の MELON 協力商品券と交換できます。



MELON 協力商品券とは

みやぎ生協、日専連仙台で発行している商品券です。金額の一部がMELONに寄付され、環境保全活動にいかされます。宮城県内の日専連加盟店及びみやぎ生協の各店舗でご利用になります。

発行元 公益財団法人 みやぎ・環境とくらし・ネットワーク (MELON) Miyagi Environmental Life Out-reach Network

〒981-0933 仙台市青葉区柏木 1-2-45 フォレスト仙台 5F

★事務局

TEL 022-276-5118 FAX 022-219-5713

★情報センター TEL 022-301-9146 FAX 022-219-5713

★ストップ温暖化センターみやぎ TEL 022-301-9145 FAX 022-219-5710

E-mail melon@miyagi.jp URL https://melon.or.jp

落丁・乱丁の場合は、MELON 事務局までご連絡ください。



この印刷物は、輸送マイレージ低減によるCO₂削減や地産地消に着目し、国産米ぬか油を使用した新しい環境配慮型インキ「ライスインキ」で印刷しており、印刷用紙へのリサイクルが可能です。